

事業名	動物愛護管理指導費		
細事業名	犬・猫譲渡事業費	財務コード	0884
担当部課室	福祉保健 部 衛生業務 課 食品衛生・動物愛護 担当 (内線) 3457		

調書番号	55
------	----

I 事業の概要

実施期間	始期 H13 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 県が引き取った犬及び猫	その対象をどのような状態にして 怪我の治療や健康管理を行い、適正に最 期まで責任をもって飼育できる者に譲渡す る。	結果、何に結びつけるのか 動物愛護及び管理の普及啓発 犬及びねこの適正飼養の推進
	県が引き取った犬・猫(飼えなくなった犬・猫、捕獲された犬)を新たな飼い主に譲渡する。 ①健康管理:譲渡対象となった犬及びねこへのシャンプーの実施、寄生虫薬の投与及びワクチンの接種 犬、猫あわせて400頭(匹) ②伝染性疾患の治療:譲渡対象となった犬及び猫のうち、伝染性疾患に罹患している犬及び猫への薬の投与100頭(匹) ③譲渡会の開催:年12回		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	譲渡会開催数(回)	目標	12	12	12	12	12	12
		実績(見込)	15	12	10	12	13	12
		達成率	125.0	100.0	83.3	100.0	108.3	100.0
		達成区分	a	b	b	b	b	b
成果指標	譲渡頭数/引取頭数(%)	目標	20.3	20.3	20.3	20.3	20.3	20.3
		実績(見込)	14.5	15.2	18.8	30.0	22.5	20.3
		達成率	75.0	74.9	92.6	147.8	110.8	100.0
		達成区分	c	c	b	a	b	b
決算(予算) 単位:千円		1,391	1,432	1,432	1,432	1,432	1,432	1,457

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評 価	年度当初の計画に従い、年間を通じて予定どおり事業を実施した。
成果指標	b		処分される犬・ねこに生存の機会が与えられたことは有意義であり、また、新たな飼い主は率直に喜びを伝えてきていることなどから、意図した成果はほぼ上げている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の 必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()
有効性 (成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	犬猫の引取数は減少傾向であること及び引き取った犬猫が全て譲渡可能でないことから、成果向上は困難である。
見直しの 余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
その他	説明	引き取った犬猫に生存の機会を与えるためにも必要な事業であり、引き取った犬及び猫の健康管理及び譲渡会の実施により、効率的に行われているため見直しの必要はない。
見直しの 必要性	無	定期的な譲渡会の開催により、一定の成果は上がっているため、見直しの必要はない。

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。